

信濃川熊森右岸築堤現場で見学会

情報化施工の効果確認

北陸整備局

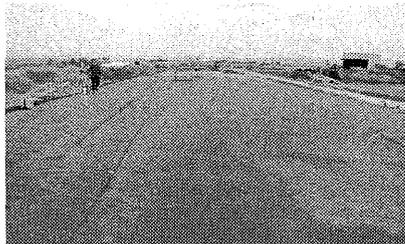
北陸地方整備局は3日、地元中小建設会社への情報化施工の普及を目的にした現場見学会を新潟県燕市で開いた。公開したのは信濃川の熊森右岸築堤工事（施工Ⅱ廣瀬）の現場。現場では、トータルステーション（TS）による出来形管理技術、ブルドーザーの自動制御技術、TSや衛星測位システム（GNSS）を活用したローラーの締め固め管理技術と同時に使用。工期は今年12月末までだが、これまでの施工で、盛り土面の均一性、工期短縮などが確認できたという。

年内に富山、石川でも 地元中小への普及を目指す

工事概要は、延長300㍍で、主なものは河川土工の盛り土工1万9800立方㍍、盤上げ盛り土工8600立方㍍、堤脚部の盛り土工1100立方㍍、法面整形8490平方㍍、法覆護岸工の野芝種子吹き付け4880平方㍍、側溝工289㍍。堤防の盛り土に使用する土は信濃川下流部から大型タンクトラックで運搬している。工期は12月20日まで。

GNSSによるローラーの締め固め管理技術では、従来の施工方式の転圧完了面の任意箇所1点で密度試験を行い、その結果を基に面全体の品質を管理するという平均値管理に比べて、転圧完了面全体を転圧回数で管理するので均一性が高まる

情報化施工を活用して締め固めた堤防



北陸整備局は、本局主催の情報化施工見学会を11～12月に富山、石川県内で各1回開く。情報化施工を活用して工事を手掛けた企業に活用した感想を話してもらったセミナーも年度内に管内で開催する。

見学会参加企業などは次の通り。

【企業】伊藤建設▽内山組▽エヌシー▽小柳建設▽加賀田組▽鹿島▽開発技建▽建機サービ

ス▽坂詰組▽高橋工務所▽田中組▽田中産業▽中越興業▽堤組▽新潟藤田組▽日本道路▽パシフィック▽コンサルタンツ▽廣瀬▽福田組▽福田道路▽松井組▽丸連建設▽皆川組▽山木組▽吉田建設▽涌井土木▽渡大組▽コマツ▽石川▽TIAサヒ名古屋出張所▽ヨシカワ▽北陸地域づくり協会

【自治体】新潟市▽津南町。

【建設ICT】

- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 4. 日経 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 5. 日経 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 毎日 | 6. 日経 |
| 10. 中部経 | 11. 朝日 | 12. 毎日 | 7. 日経 |
| 13. 建設通 | 14. 朝日 | 13. 毎日 | 8. 日経 |
| 16. 建設工 | | | 9. 日経 |

平成25年10月7日(朝)・夕) P 7